

28

千代田区景観まちづくり重要物件

ぼたん

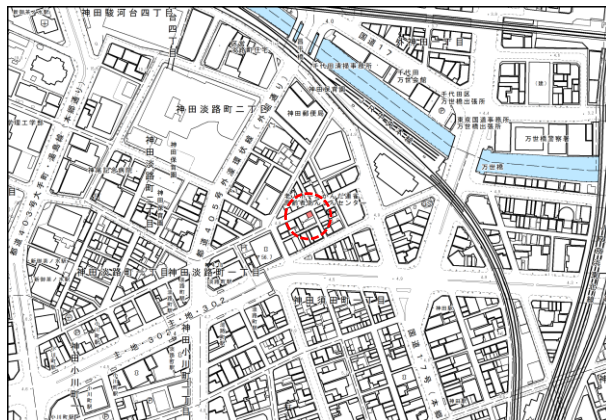
指定日 2003（平成 15）年 6 月 9 日

所在地 神田須田町一丁目 15 番地

設計者 不詳

竣工 昭和初期（1930 年頃）

文化財等
指定状況 東京都選定歴史的建造物



▲ぼたん

歴史・文化的特徴

ぼたんは、1897（明治 30）年頃創業の「鳥のすきやき」専門の老舗です。ラシャの間屋街で釦（ボタン）を扱っていたために「ぼたん」を屋号としました。

明治初期に武家地を開発してつくられた地域に位置しています。近くにあった筋違橋門内の広場は八路ヶ原と呼ばれ、交通の結節点でした。その後、1912（明治 45）年に万世橋駅が建設され、もっとも賑わう場所となりました。また、地域の南側には、1928（昭和 3）年まで青果市場があり、活気のある場所でもありました。周辺には空襲をまぬがれた老舗の飲食店が多く、昔ながらの情緒を漂わせています。

東京都選定歴史的建造物にも選定されています。

意匠・構造の特徴

入母屋造の建物です。玄関を開けると格式の高い式台が見えます。

3 階部分は増築ですが、1,2 階は創建当時の原型をよく留めています。

外壁はモルタルで塗り込められていますが、創建時期より、防火のためにこのような材質を用いたと思われます。

周辺景観との関係

周辺にも老舗の飲食店が多く、老舗街のイメージに合った景観を形成しています。

角地にあり、ビル街にある中で、木造の建物全体がランドマークとなっています。

1 階部分を隠すように塀がありますが、建物に合わせたデザインで風情を感じさせ、建物と相まって和風の景観を形成しています。